夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番
編集兼発行人 吉田甫

家具と漆器のあるが
三二二番 銀座通り

樂しい修学旅行
親達にとつては頭痛の種

◆今年も小中高校の児童生徒、学生らが首をながくしてまつている憧れの修学旅行シーズンが宵の寒りと共にやつて来た、毎年のことながらこの修学旅行は親達にとつて頭痛の種、旅行費用の一切を整えるのには一万二、三千円（高校の場合）はどうしてもかゝるとあつては親達の胸中も察しがつく◆それでも今年の修学旅行は学校貯金の積立金を利用するので、家庭に迷惑をかけない楽しい旅行が出来ますとは先生方の言分である。

急がしい 公通公社の窓口

日本公通交社平営業所には今浜通りの各学校から旅行申込みがわんさとつめかけ係ではその受付けにてん手古舞、今年は昨年に比べて二十日から十日早くすでに各校の旅行プランもだいたい出来上がりあとは出発をまつばかり、

スケジュールをのぞくと高校が四泊五日から五泊六日で関西（東京、山田、奈良、大阪、京都、伊勢）廻り、中学校は関東（日光、江ノ島、鎌倉、東京）廻りで二泊三日だが、昨年からの霜冷害による農漁村の不況、炭況不振と言つたことから父兄が費用のねん出に困まりPTAを通じて日程の短縮を強く要望する声もあつたので一泊二日のところが多くなつた。

小学校は終戦後の日光参りから里程がのび昨年通り東京見物で日帰りといずれも定形化された旅行コースになつている。

高等学校は 一万円もかゝる

費用は一切を含めて高校が最底三千五百円から最高四千四百円で四千円平均、中学校は九百円から千九百円、小学校は五百円平均となつている、しかし費用だけでは旅行も出来ず、親としての見栄からも結局服装は新調、その他雑費などなにやかにやの金をかけ送り出すわけで。

少なく見積もつても高校は一万円、中学校は六千円、小学校は二千円から三千円、これに小遣を入れるとまさに坊ちやん嬢の大名旅行、小遣は学校で高校が三千円以下、中学校が五百円以下、小学校は二百円以下と決めているが良家？の子息のなかには六、七千円の大金をブラ下げて行く者（高校生）もあるとの由。

家庭が困まつている者にも社会教育と言う立前上、町村で旅行費用の一切を負担することになつているが、昨年まで小中校全生徒の費用を負担した内郷町も緊縮財政切替とあつて今年からは貧困者の子弟だけに限つたようだ。

各校の日程

磐高は修学旅行のトツプを切つて去る三月二十六日関西廻りに出発三十一日に帰平したがその他は五日磐女を皮切りに続々お出掛になる。

国鉄では高校の場合は普通の旅客列車に乗せているが、小中のように短日時の場合はブロック毎に日程を決め臨時列車で、ピストン輸送（計画輸送）を行うことになつている。

市、郡内各校の日程は次の通り（高校は関西、中学は関東、小学校は東京）

高校の部 ◆五―十日磐女◆十九―二十四日平工◆二十三日―二十八日平商◆二十六―五月一日湯本夜間、内郷高◆五月十二―十七日小名浜高◆四月二十五―三十日磐農

中学校の部 ◆二十九、三十日平第一、三中◆二十八、二十九日小名浜各中学、江名各中、泉中◆三十、五月一日平二中、好間中◆五月二日―四日草野、磐間、大野各中、湯本一、二中内郷中は未定

小学校の部 ◆八日小名浜地区◆十日植田地区◆十一日勿来地区◆十三日四倉地区◆十四日湯本地区◆十五日湯本一部、江名地区◆二十、内郷町区◆二十二日平地区。

七日から街頭募金
平市の緑のハネ運動

平市の緑化週間は一日からの予定を、十五日から実施と変更、五日午後一時から市役所会議室で緑化推進委員会を開催して具体案を協議した。

▼募金目標額は三十万円として七日から十九日まで市内各校生徒の協力で行う▼植樹は、吉野桜四百五十本を鎌田山と物見ケ丘、石森山、旧新川べりに補植石城地方事務所前舗道にイチヨウ四十本、白銀町街路にプラタナス百本、旧新川べりに枝垂柳五十本を植えるほか、専売公社西側に五畝の苗圃を設置する。

緑の羽根割当て
今年の目標は三十万本

「緑化週間」の行事として行われる〝緑の羽根〟共同募金割当てについて石城地方事務所と緑の羽根共同募金委員会ではこのほど協議会を開き、次の通り各町村募金目標を決めた。

なお郡下の目標は三十万本（三千万円）山田三百本（三千円）錦九百本（九千円）勿来二、三百本（二万三千円）植田一、四百本（一万四千円）上遠野五百本（五千円）川部四百本（四千円）田人五百本（五千円）夏井三百本（三千円）高久二百本（二千円）豊間八百本（八千円）磐城七百本（七万千円）常磐一千八百本（一万八千円）内郷三千七百本（三万七千円）好間三千本（三万円）赤井八百本（八千円）永戸袋輪三百本（三千円）沢渡三阪八百本（八千円）草野四百本（四千円）大浦八百本（八千円）四倉四百本（四千円）大野一千本（一万円）上下小川八百本（八千円）川前五百本（五千円）。

農繁期前後の お百姓さんの体重調査

石城地方事務所改良課では昨秋来磐城市泉字滝尻部落民の農繁期前後における体重減少調査を進めていたが、このほどきとまつたので春の農繁期における農家の食品栄養、農業経営改善の資料にする。

調査は十三才から六十五才までの男女約二百名で、農繁期前でもつとも体重のおもいのは男の六十才前後で七十一キロ、次いで男の二十七才で七十キロ、次いで男の三十四才が六十七キロ女の十八才が六十六キロになつており六十才の男と十八才の女の体重がおもいのは注目される体重の軽いのは十三才以下の子供をのぞくと十七才と六十才の男で四十三キロ、いずれも女の五十三四十九、の四十六キロと二十一才の四十五キロになつている、これを農繁期後に比較すると二十一才から四十九才までの男女とも一キロから四キロ減つている。

特に一家の主人、主婦となつた場合による精神的苦労も重ざなるためか二十七才から三十才までは三キロ平均減つているのは注目される、これは主に過重労働のためと農繁期のいそがしさに追われ充分な栄養をとらないためとみられこれを補助するために農業経営と家庭生活の改善による合理化と機械化による以外にないと見られる。

また精神的苦労の多い三十台は時間的就業が短く留まれている、一方十才台と楽隠居の六十才台は反対に一キロから二キロ増えている十才台はともかく六十才台の増えているのは世間の苦労からぬけようと気まゝな生活を送つているためと見られる。

失対事務所 新庁舎に移転

市内菓子町に庁舎新築を急いでいた石城地方失業対策事務所では、此程すつかり完成をみたので四月一日から新庁舎に移転した。

松沢検事着任

福島から平地検に栄転の検事松沢二郎氏は着任挨拶のため五日本社来訪、同氏は終戦後大陸から引揚後間もなく福島地検に着任、若手の検事として将来を嘱望されている。

出生 死亡 届出

出生＝平市上平窪字真似井二三根本フチ（モ）平市南町五〇吉田純子（一）

天気予報

（明日）東寄の風曇りがち後時々小雨模様の天気
（海上）明日から明後日かけて風波が出てくる

昨今の話題

緑の週間に寄せて

今年も緑化運動が始められた、毎年のことながら一般には まだ造林、植林の必要性について認識を欠いているようであるわが国は戦前は世界有数の森林国であり、その林野から計り知れない恩恵を受けていた、〝国敗れて山河あり〟とは昔の夢、敗戦によつて台湾、カラ太などの森林を失い、更にその後の過伐、乱伐によつて山野は荒れ放題に荒れて、一と度び台風が来れば水害起り、晴天が続けば停電騒ぎを操返している殷栄省の発表による廿八年度の洪水被害は実に三千億円を突破していると〝驚くべき数字を発表している、一方木材の需給は過伐乱伐をしてもなお応じ切れず、森林は加速度に減つてゆくスペインが亡衰したのは森林を乱伐したからだとも伝えられ、わが国でもその昔騒原文化の中心と言われた北上川流域の繁華郷が、今日では極めてさびしい一寒村となつてしまつたのは、騒原一族が社寺建設のため森林を乱伐したためと言え伝えられている。

緑の林野は近代文明の一つの特徴であるとさい言われ、最近のロイター通信に〝緑の判決〟という興味深いニュースがある、それは西ドイツの或る少年裁判所が、キヤンプで森の木を三百本伐採して薪にしてしまつたという少年被告に対し「三百本の苗木を植えよ」という判決があつたというのである、いかにも緑化運動の先進国にふさわしい話である。

そろそろ花見時ともなれば、なんの反省もなしに桜の木を折る酔漢をよくみかける、もつての外である、幸い緑の週間中に今まで花見時や、ハイキングで樹木を傷めたと心に覚えのある人は、せめて苗木の一本つゝでも植えて欲しいものである、こうした愛樹の観念こそ、国土をうるおし、国を護ることになるであろう

このまゝ放置したら一体どうなる。

〝森林は国土の diamond〟という古い言葉がある、百余年前デンマークがオーストラリア連合軍に敗れたとき、戦線から帰つた兵士が「剣で得たものは剣で失う」と言つたのは、騒原一族が社寺建設のため森林を乱伐したためと言え伝えられている。

緑の林野は近代文明の一つの特徴であるとさい言われ、最近のロイター通信に〝緑の判決〟という興味深いニュースがある、それは西ドイツの或る少年裁判所が、キヤンプで森の木を三百本伐採して薪にしてしまつたという少年被告に対し「三百本の苗木を植えよ」という判決があつたというのである、いかにも緑化運動の先進国にふさわしい話である。

そろそろ花見時ともなれば、なんの反省もなしに桜の木を折る酔漢をよくみかける、もつての外である、幸い緑の週間中に今まで花見時や、ハイキングで樹木を傷めたと心に覚えのある人は、せめて苗木の一本つゝでも植えて欲しいものである、こうした愛樹の観念こそ、国土をうるおし、国を護ることになるであろう

山林賣り度し
場所は内郷町綾地内の杉、雑木、土地とも一町余反歩
希望の方は委細面談
内郷町役場勧務
売人 山崎忠雄

★お花見の折詰・仕出し 各種御注文に応じます 製菓 湖畔 平市大町電六三七番

コロムビアラジオ 電蓄プレヤー 一流品ノ揃ツテ居ル店 日東商会 国鉄物資部指定店 日本水素労組指定店 勤銀文化予金（コロムビア）指定店 平二丁目 電四二八

祝 市制 常磐市 看板とネオン 平AD社 平市1ノ1 TEL1300

洋裁生徒募集 明るい教室・充実した設備いよいよ本学院は県の公認校となりました 一、昼間部 本科 一ケ年 一、夜間部 本科 一ケ年 一、土曜自由科（特設一般家庭婦人のため毎週土曜日午後のみ） ◎入学 四月十日（願書受付中） 新しいデザインとカット 親切な指導 公認 小松洋裁学院 学長 小松みどり ●入学案内及び願書進呈 お申込は早目に 申込所 小松ミシン商会 内郷町宮金坂 電（平）一、七四四 ●御不明の点は当学院にお問合せ下さい

お花見の……折詰 仕出し 富士独得の江戸前寿司 和洋食各種 出前迅速 富士食堂

お花見の折詰・仕出し 百五拾円より各種 御相談に応じます 製菓 みさと 三田小路電七三六

昨日の人出約八万
ごった返した児童遊園地

暖冬異変の影響からか、平市松ケ岡公園の桜は予想より約一週間早くすでに八分咲き、このままで行けば六日から七日にかけて満開となり、七日から繰りひろげられる〝平桜まつり〟が間に合わないという懸念昨日（四日）は日曜とあって公園や児童遊園地は子供連れ、ナベツク組児童らの遠足組などがわんさと押しかけ約八万の人出（平市商工課調べ）でごった返した、十名近くも迷子が出る騒ぎで、交通整理の警備に当るお巡りさんも汗せダクダク、特に児童遊園地は市内と近郷近在からの親ましい親子連れで豆電車、電気ボートなどは終日ラッシュアワー、五万四千円と言う開設以来の売上げをみせて経営に当る市役所はホクホクと一人悦に入っていた、五日の月曜日も、旧桃の節句と、学校始業式とで午後からの公園は前日にも増しての人出であった、第二公園の陽当りのいいところは早くもチラホラと散り初めたところもある。（写真は、遠足にやって来た児童たち＝昨日松ケ岡公園で本社写真部員が撮影）

開花さくら満開

従前通りに入學
鹿島村の学校閉出し解決

町村合併のもつれから新学期を前に学校を閉め出された旧鹿島村三部落在住児童らの入学拒否問題は再三に亘る両市間の交渉や地方事務所、県教委石城出張所長の仲介の労にも妥結点に達せず、五日の入学式もおぼつかないと言う段階に立ち至るのではないかと見られていたが、四日常磐、磐城の両教育長と入学拒否を強く主張して来た旧鹿島九部落代表らが再度交渉を行った結果両夕刻遅く、取りあえず児童は従来通り鹿島村に収容

今後の運営其の他については今後の話合で決めることで妥結点に達し、児童らは五日無事に入学出来ることになった。

子供に罪はない

拒否問題は割切れぬ大人達のウツプンを子供に八ツ当りした町村合併の悲劇でもあり、罪のない子供達のためにも強く善処を要望されていたものだが、村内の感情的対立は依然強く、老人達の間では「他に合併したんだから子供の処置も自分でやつたらよかろう」と当然至極のこととさい考えられている現況でもあるので、入学日に迫られて一応妥結の線は打ち出されたものゝ更に旧村財産の分割、或は農協の分割などや今後に残された問題の経過をめぐつてすつきり割切れない感情が残つており関係当局の適切なる指導が強く要望されている

剣道大会延期

さくら祭の行事として七日予定の剣道大会は選手の都合で十一日午前十時から平市松ケ岡公園庭球コートで開く。

町村議長会

石城地方町村議会議長会総会は五日午後一時から石城地方事務所会議室で開催。

◆北米移民取扱い問題
◆町村議員大会の開催について
◆県下議長会提出事項等について協議した。

交換台増設完成
平局市外通話スピード化

平電話局では市外通話をスピード化するため市外交換台三台の増設工事を急いでいたが此のほど出来上つた。

増設によつて市外線平―東京間は十回線、平―常磐市九回線となり申込み待時間も東京三時間常磐市二時間ほど短縮される、なお引続き四月下旬から平―植田間、平―磐城市間各三回線と市内交換台一台の増設工事に着手する予定である。

放浪の子が入學
里親の温かい取計いで

幼少の時父親と死別しその後母親と放浪の旅を続け母一人の働きでは生活に事欠くありさまで、十二才まであこがれの学校にもあがれず毎日悲嘆に暮れていた薄幸の少女を里子に引きとり、五日の入学式には新調の洋服、ランドセル、靴などを買つて入学させた里親が内郷町にあり。

花咲き香り校庭の桜樹の下でうれし泣きしていたという一少女と里親の春の巷に投げかけた心温まる美談がある。

内郷加藤住職
喜びの文ちやん

話題の里親は内郷町小島字台の上二満蔵寺住職加藤正光さん(四〇)で山形県米沢市生れ桃崎タ子ちやん(三)を平児童相談所から里子として引取つたもので。

加藤さん方には婆幸子さん(三四)長男正康ちやん(二)、次男正典ちやん(五)、三男光智ちやん(二)この五人暮しで女の子がいないので幸子さんが喜んで引取ることになつたもので、文子ちやんは新調つ洋服、ランドセル、靴などを買つてもらい五日行われた御厩小校の入学式に臨み。

嬉しい挙動はかくしきれず花咲き競う校庭の桜樹のもとですつりなきしたという荒れすさぶ世相に明るい話題を投げかけたもの。

文子ちやんは六才のころ父親と死別し母よしさんと放浪生活をてんてんと続け相馬市中村町に落ちついたが、母一人の働きでは学校にもあげられず母子抱きあつて艱難にくれていたときも度々で、生活もどん底に落ちこみもがきあえぎ抜いた末、愛しい吾が子を身売りして生きようと決心した母の行動を逸早く察知した平児童相談所では。

早速彼女を引きとつたものの里親あつせんに苦しんでいることを聞き伝えた加藤さん一家が明るい家庭のふん囲気で温かい心尽しがあれば必ず更正させられると去月中旬引きとつたもの。

里親加藤さん談

「実に薄幸な少女で可愛い相です、出来るだけの愛を恵み香子のようにして育成し更生させるつもりです」

磐城学生寮の入寮者選考

磐城学生寮入寮者の選考は六日から関係者間で慎重審査されることになつているが、三十名の第一次収容定員に対して現在までの入寮希望者は郡市併せて二百名にも達する模況振りを示し早くも関係者の頭をなやましている。

水爆マグロか？
平保健所調査に乗り出す

東京築地市場から入荷したマグロを食つたら一週間目に一緒に食つた三人共頭痛をおぼい、症状の不明なことから放射能によるものではないかと言われ平保健所小名浜支所で慎重診察を進めているが、花どきでもあり反響が大きいので平保健所でも正体追究に乗り出すことになり五日は所長以下検査班が現地に急行白血球検査による学科調査を行つているが現在のところ放射能は確認されていない。

今のところ反能は見られず

水爆マグロを食つたと言う人は磐城市東北海運小名浜出張所検査課岩田爲さん(四〇)外二名で、去る三月二十六日江名に出張した際同町内でマグロのサシミをくつたところ一週間後に三人とも同様に頭痛を起したと言うもので

当のマグロか東京築地から入荷していることや、スワ水爆マグロ被害ではないかと言われているものだが平保健所小名浜支所では三日夜から精密検査を進めているが今のところ反能はみられていないと言う。

短刀で刺す

内郷町高坂字台八五建具商箱崎伝(三)と三日午後九時四十五分ころ平市田町六八映画館「ひかり座」脇露路で女のことから内郷町高坂三本杉二九家具商遠木広志さん(三)と口論。

箱崎は持つていた刃渡り十五センチの切だしで、いきなり遠木の顔面に切りつけ逃走、遠木は左耳上からあごにかけ深さ二センチ長さ十五センチの重傷を負い、通行人の手で市内安斎医院に担込まれた。

急報を受けた平市署では折から花見の警戒にあたつていた署員を動員、徹夜の非常線を張つり四日午前八時四十分ころ内郷町にまいもどろうとした箱崎を長橋町で捕まえた。

補導所入所式

平職業補導所の第三回入所式は五日午前十一時から市内尼子橋畔の同所で行われた。

トラックにはねられ即死

四日午前十一時ころ勿来町窪出無職松井平蔵さん次男新二ちやん(四つ)は自宅前の県道上で遊んでいるところを錦町にむけ走つて来た同江梁荒井一三さん運転のトラックにはねられ即死した。

春の新柄・純毛服地
紳士婦人服・学生服
学童服スプリングコート
鈴木勘呉商店
第一平一丁目　電1、638　第二平和通り　電732

質山一
紅映画

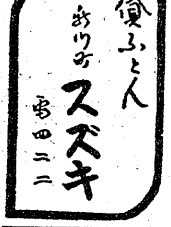
例大吉春の福袋大會
四月五日より　於　酒藏しらぎく

正直たわし
他品に頂けぬ
便い良い
高砂ほーき

求宅地建物
福島県知事許可登録済　平宅地建物取引所
平市才磐小路磐司際色川材木店内電三六一番
多数申込有　至急買度
不動産売買・仲介・鑑定

大丸の洋酒

貸ふとん
おりもの
スズキ
電四二二


石炭は常磐炭磯
夏向に煙突掃除のいらない
煙の少ない
火力の強い
徳用石炭
電話三七番へ
一俵より御届けいたします
平市田町
常磐炭砿販売KK

公園の桜が一望に見える
味の有楽で
お花見折詰百五拾円より各種
御相談に応じます
御二階座敷は三十人様まで宴会が出来ます
仕出し
大衆割烹
有樂
平市聚楽館トナリ電一七二三番

写真に勝る肖像画は
菊水画房

お車の御用命は
電話…平1、538番
…平1、548番
◉毎度お引立有難う
◉存じます
綴駅前
小野タクシー

★★お花見の★★
折詰・仕出し
各種御相談に応じます
割烹　開花
平市新田町電一三八九